

月
九
日
||

特異な田園都市として発足して一年有半、当市農業に於いて今後改善すべき点が甚だ多いのでありますが、之等の点を究明すべく去る九日魚津市の農業を語る座談会が市農林課、農業改良普及事務所、4日クラブ等の方々に参集していただき活潑なる意見が交換されました。其の概要は次の通りであります。

市長 前々から農業の改良指導に当っておられる皆さんと親しく懇談したいと思つていたところ、今日其の機会を辱したこと、

耕土培養 獨鉄釜の投入が非常に効果的であつた。之に対し今年には水栽培のモデル部落を砂我井土也特級びクロボ

喜ひに堪えない。どうか
魚津市の農業の特色、今
後の方針等につき忌憚り
ない意見を聞かして頂き
たい。最近考えている問
題としては、近くに消費
地を控えている關係上、
近郊の蔬菜の問題、水稻
の今後の方向、豊富な山
地の利用、農村電化、農
地の改良等です。

を利用する農業でなければならぬ。煙草栽培には是非草、堆厩肥が必要であつて、山と草を良く利用して家畜を飼育することである。今年は酪農振興法により、国で酪農を奨励するようであるが野方の台地等は適地であると思う。

石林 昨年は冷害の為凶作

し、栽培を実施して頂き之に依り、市の米の増産を推進したい。又耕土培養無硫酸根肥料の施用は今年の作の結果から見て、必ず行ふ必要がある。



高村 近郊蔬菜の問題では、当地は、市街地近は耕地面積が減じてあること、下肥の利等に依り充分蔬菜が伸びるべきだが、栽培技術低いので他の地方に押れており、今後栽培技術の向上を図り度い。

課長 蔬菜に因りては、産、集荷、貯蔵、出荷の一貫した機関を確立したいと思う。

市長 栽培販売等には、

魚津市
昭和二十八
回数第一回第二回第三

同	議決	欠人	出人	会	月	区
意	案件の 他を例	員席	員席	期	日	分
	五	二	二八	一	十九日	一
	二六	二	二八	一七	十月三日	一
			二		十二日	一
					十六日	一
					四	

	合同委員會	———
	議員協議會	一一三
	決算特別委員會	一
昭和三十八年請願陳 請願、陳情件數 三二件（	委員 會 別 件	
市長 農村電化について何 か考える事があるか。		
海野 最近調査した所に依 ると、市内に於ける脱穀 調製用の電動機の数は一 戸の割合で農家六戸に 内で一五・六口で農業は 少い。水車の利用地帯は 特に少なく、動力線の行 つていない処が多く配電	總務委員會 文教委員會 厚生委員會 農工水產委員會 森林委員會 建設委員會 全體委員會	

昭和二十八年本會議決件数及び議員出席状況

種別	區別	月份	會期	出席議員	欠席議員	議決案數	議決案例	案數	案例	同意
臨時會	第一區	一月	十九日	二八	二	五	六	二六	一	一
臨時會	第二區	二月	十三日	二八	二	一	一	一〇	五	一
臨時會	第三區	三月	四日	二六	一	一	一	二九	三	一
臨時會	第四區	四月	二十五日	二九	一	一	一	二六	一〇	一
臨時會	第五區	五月	十六日	二七	三	二	四	二九	三	一
臨時會	第六區	六月	十八日	二九	二	三	五	二六	一〇	一
臨時會	第七區	七月	十四日	二八	三	一	二	二六	一〇	一
臨時會	第八區	八月	廿八日	二七	一	二	二	二六	一〇	一
臨時會	第九區	九月	廿四日	二九	二	一	二	二六	一〇	一
臨時會	第十區	十月	二日	二七	一	二	二	二六	一〇	一
臨時會	第十一區	十一月	二日	二七	一	二	二	二六	一〇	一
臨時會	第十二區	十二月	二日	二七	一	二	二	二六	一〇	一

本会議議決件数及び議員出席状況
 第四回第五回第六回第七回第八回第九回第十回計
 議決件数 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 100
 議員出席状況 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1000

屋内引込給水管口径
 と凍結防止について
 ◇一般家庭に給水されてい

出来ることになつていま
 ◇露出している給水管には
 寒装置を施したものでも
 厳寒時には凍結する事が

三	四	五	六	四	三	二	一	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百	一百一	一百二	一百三	一百四	一百五	一百六	一百七	一百八	一百九	二百	二百一	二百二	二百三	二百四	二百五	二百六	二百七	二百八	二百九	三百	三百一	三百二	三百三	三百四	三百五	三百六	三百七	三百八	三百九	四百	四百一	四百二	四百三	四百四	四百五	四百六	四百七	四百八	四百九	五百	五百一	五百二	五百三	五百四	五百五	五百六	五百七	五百八	五百九	六百	六百一	六百二	六百三	六百四	六百五	六百六	六百七	六百八	六百九	七百	七百一	七百二	七百三	七百四	七百五	七百六	七百七	七百八	七百九	八百	八百一	八百二	八百三	八百四	八百五	八百六	八百七	八百八	八百九	九百	九百一	九百二	九百三	九百四	九百五	九百六	九百七	九百八	九百九	一千	一千一	一千二	一千三	一千四	一千五	一千六	一千七	一千八	一千九	二千	二千一	二千二	二千三	二千四	二千五	二千六	二千七	二千八	二千九	三千	三千一	三千二	三千三	三千四	三千五	三千六	三千七	三千八	三千九	四千	四千一	四千二	四千三	四千四	四千五	四千六	四千七	四千八	四千九	五千	五千一	五千二	五千三	五千四	五千五	五千六	五千七	五千八	五千九	六千	六千一	六千二	六千三	六千四	六千五	六千六	六千七	六千八	六千九	七千	七千一	七千二	七千三	七千四	七千五	七千六	七千七	七千八	七千九	八千	八千一	八千二	八千三	八千四	八千五	八千六	八千七	八千八	八千九	九千	九千一	九千二	九千三	九千四	九千五	九千六	九千七	九千八	九千九	一万	一万一	一万二	一万三	一万四	一万五	一万六	一万七	一万八	一万九	二万	二万一	二万二	二万三	二万四	二万五	二万六	二万七	二万八	二万九	三万	三万一	三万二	三万三	三万四	三万五	三万六	三万七	三万八	三万九	四万	四万一	四万二	四万三	四万四	四万五	四万六	四万七	四万八	四万九	五万	五万一	五万二	五万三	五万四	五万五	五万六	五万七	五万八	五万九	六万	六万一	六万二	六万三	六万四	六万五	六万六	六万七	六万八	六万九	七万	七万一	七万二	七万三	七万四	七万五	七万六	七万七	七万八	七万九	八万	八万一	八万二	八万三	八万四	八万五	八万六	八万七	八万八	八万九	九万	九万一	九万二	九万三	九万四	九万五	九万六	九万七	九万八	九万九	十万	十万一	十万二	十万三	十万四	十万五	十万六	十万七	十万八	十万九	十一万	十一万一	十一万二	十一万三	十一万四	十一万五	十一万六	十一万七	十一万八	十一万九	十二万	十二万一	十二万二	十二万三	十二万四	十二万五	十二万六	十二万七	十二万八	十二万九	十三万	十三万一	十三万二	十三万三	十三万四	十三万五	十三万六	十三万七	十三万八	十三万九	十四万	十四万一	十四万二	十四万三	十四万四	十四万五	十四万六	十四万七	十四万八	十四万九	十五万	十五万一	十五万二	十五万三	十五万四	十五万五	十五万六	十五万七	十五万八	十五万九	十六万	十六万一	十六万二	十六万三	十六万四	十六万五	十六万六	十六万七	十六万八	十六万九	十七万	十七万一	十七万二	十七万三	十七万四	十七万五	十七万六	十七万七	十七万八	十七万九	十八万	十八万一	十八万二	十八万三	十八万四	十八万五	十八万六	十八万七	十八万八	十八万九	十九万	十九万一	十九万二	十九万三	十九万四	十九万五	十九万六	十九万七	十九万八	十九万九	二十万	二十万一	二十万二	二十万三	二十万四	二十万五	二十万六	二十万七	二十万八	二十万九	二十一万	二十万一	二十万二	二十万三	二十万四	二十万五	二十万六	二十万七	二十万八	二十万九	二十二万	二十二万一	二十二万二	二十二万三	二十二万四	二十二万五	二十二万六	二十二万七	二十二万八	二十二万九	二十三万	二十三万一	二十三万二	二十三万三	二十三万四	二十三万五	二十三万六	二十三万七	二十三万八	二十三万九	二十四万	二十四万一	二十四万二	二十四万三	二十四万四	二十四万五	二十四万六	二十四万七	二十四万八	二十四万九	二十五万	二十五万一	二十五万二	二十五万三	二十五万四	二十五万五	二十五万六	二十五万七	二十五万八	二十五万九	二十六万	二十六万一	二十六万二	二十六万三	二十六万四	二十六万五	二十六万六	二十六万七	二十六万八	二十六万九	二十七万	二十七万一	二十七万二	二十七万三	二十七万四	二十七
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-----

	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
種別	一	二	一	一	二	二	一	一	一	九
坪数	一	二	一	一	二	二	一	一	一	七
建設場所	一	二	一	一	二	二	一	一	一	九
戸数	一	二	一	一	二	二	一	一	一	九

、特別委員会、合同委員会、協議会開會次數調
 本年度市営住宅建設工事は、左記の通り建設場소가決定になり、新春早々工事
 が始められ本年三月末頃迄に完成し、住宅にお困りの市民の皆様に入居して頂くことになりました。

建設工事始る

[illegible]

建設工事始る

種 類	坪 数	建設場所	戸 数
第一種木造	十一坪	経田地内平伝寺	二〇戸
第一種特殊耐火構造	十三坪	道下地内村木	八戸
第二種木造	九坪	道下地内青島	一〇戸

本年度市営住宅建設工事は、左記の通り建設場所が決定になり、新春早々工事が始められ本年三月末頃迄に完成し、住宅にお困りの市民の皆様に入居して頂くことになりました。

建設工事始る

社長吉田忠雄氏は民生係長を命ずる

吉田工業社長
歐米視察

吉田工業社長吉田忠雄氏は
各國の産業事情を視察の為
約三ヶ月の予定で去る九日
羽田空港を出発されました

市職員人事異動

民生係長を命ずる
(旧庶務係長)

永田久直

十二月二十六日より一月十日まで

一月一日(金)	消防出初式
新年祝賀交歓会を西部中学校において開催	全 八日(金)
五日(火)	博覧会事務協議会開催
定例市教育委員会開催	全 十(日)
全 六日(水)	市勢振興委員会代議員会開催

このことについては、法

で月額千五百円

このことについては、法律に制定されております。即ち配偶者のない女子であつて、現在児童を扶養している者に對し、生業の開始児童就學その他必要な資金の貸付を行い、その経済的自立の助成と生活意欲の助長とを図り、併せて、その扶養している児童の福祉の増進を目的としたものです。

貸付金の種類と貸付金額

- 一、事業開始するに必要な資金（生業資金）五万円以内
- 二、就職に際し必要な資金（支度資金）一万五千元以内
- 三、事業を開始し、又は就職する為に必要な知識、技能を修得するのに必要な資金（技能修得資金）二年間を超えない範囲内

で月額千五百円以内

四、技能修得資金の貸付を受けて知識、技能を習得している期間中の生活を維持するのに必要な資金（生活資金）本人月千円以内、扶養児童一人に付き月五百円以内

五、事業を継続するのに必要な資金、事業継続資金、三万円以内

六、修學に必要な資金（修學資金）

- ・高等学校 月五百円以内
- ・大学 月二千円以内

七、扶養している児童が事業を開始し、又は就學するため必要な知識、技能を習得させるのに必要な資金（修業資金）

二年を超えない範囲内、月千五百円以内

毎月の二十日に受付を締切っております。

あなたの魚津を…よくする
市 民 税 第 4 期 ため
納期限 1 月 31 日 限 り
期限までに完納して下さい
税 務 課